



# 福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2021

1月29日号

180  
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会 〒960-8157 福島市蓬萊町七丁目13番5号 TEL/FAX 024(529)7238

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

## GODSPEED



副会長 鈴木 雅 博

明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症に始まり世界中が新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。日本でも緊急事態宣言が発出され、不要不急の移動をはじめとする外出の制限や自粛、東京オリンピック・パラリンピックや甲子園など大規模イベント、卒業式・入学式の延期・中止など社会・経済活動が厳しく制限されました。しかしながら、令和3年1月1日現在、国内での新型コロナウイルス感染症の感染者は234,395例、死亡者は3,460名<sup>\*</sup>と、第2波、第3波と感染は今でも続いています。(※厚生労働省 報道発表資料より)

技師会としての事業もほとんど行うことができず厳しい一年になりました。オンラインでの講演会やWEB会議が当たり前に行われるようになり、懇親会や飲み会などのイベントもなく、新型コロナウイルス感染症について、正しい情報を入手しながら確実な対策等を講じて日々の業務を行う毎日でした。便利な道具だと思っていたインターネットが単なる道具ではなく、生活の一部となった新しい生活様式「ニュー・ノーマル」社会のなかで、様々なアイデアや新しい可能性が生まれ出され、変化する環境に戸惑いながらも、ニーズを的確に捉え迅速に対応していきたいと思えます。

そんなコロナ禍で迎えた正月は、初売りや初詣に行くこともなく、2日-3日は正月恒例の東京箱根間往復大学駅伝(箱根駅伝)をステイホーム応援で過ごしていました。(中学・高校と陸上(長距離)をやっていたこともあり、コロナに関係なく箱根駅伝は毎年みっていますが)そんな今年の箱根駅伝も数々の感動がありました。往路で優勝を飾った創価大は勢いそのままに9区までトップを独走。しかし、合計10区間(217.1km)のゴールが目前に迫った最終10区の残り2キロで逆転を許し、駒大が13年ぶり7度目の総合優勝。往路12位からの猛追で総合4位フィニッシュ、3年ぶりの復路優勝した前年王者の青学大。総合、往路、復路のタイトルを3校が分け合うのは、19年大会以来2年ぶり。その前は2006年大会までさかのぼるそうです。また、9区では、山梨学院大と専大が無念の繰り上げスタートで10区にタスキをつなぐことができず、総合成績上位10校に与えられるシード権(翌年度も確実に箱根駅伝に出場できる権利)争いでは、明大が東京国際大に26秒差でシード権を逃すなどいくつものドラマがありました。選手たちがこの箱根に懸ける想いやチームの絆、長い距離を一本の棒で繋ぐ駅伝は、選手一人一人はもちろん、出られなかった選手たちやチーム関係者にもいろんな物語があり、いろんな要素が絡み合うからこそ感動が生まれると思えます。今年はコロナで調整や運営も困難だったとは思いますが、来年は、大きな声援のなか選手が走れるような大会になってくれることを願うばかりです。

## 福島県立医科大学 新医療系学部だより

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 久保 均

皆さま、新年あけましておめでとうございます。昨年は、何と言いましても新型コロナウイルス感染拡大で大変な1年でした。我々診療放射線技師も、X線検査や特にX線CT検査で一連の診療における重要な役割を果たしていますが、PCR検査のような決め手となることがないためにマスコミに報道されることもなくあまり世間に理解されていないかもしれません。しかし、我々がいなければ決して診療は進んでいきませんので、大変厳しい状況ではありますが医療を維持するには自身の感染に気をつけて業務を続けるしかありません。先生方においては本当にタフな状況ではありますが、医療人としての気概を示していきましょう！

前回は、山尾助手に国際学会への参加について執筆していただきました。私も同じ学会に参加していましたが、国際学会での発表はなかなか大変です。初めての国際学会での発表ということで、とても思い出に残ったことと思います。例え国際学会であっても、抄録が良い内容でしたら採択されます。我々大学の者も積極的にサポートしますので、自身の研究内容を国際学会で発表したい、とお考えの場合はお気軽にご連絡下さい。専門性等を考慮したうえで最適な教員をご紹介しますので、一緒に目標に向かってがんばっていただければ幸いです。

さて、今回はこの4月に開設する保健科学部診療放射線科学科について、より詳細にご紹介いたします。あと2ヶ月少々で学生を迎えるところですが、決まっているところをお伝えいたします。

### 1) 認可

2020年10月23日に、文部科学大臣より2021年4月1日付けで保健科学部の開設が認可されました。学科および1学年の学生定員は理学療法学科40名、作業療法学科40名、診療放射線科学科25名、臨床検査学科40名です。また、診療放射線科学科は2020年12月11日に文部科学省より診療放射線技師法施行令第8条に定める学校としての指定を受けました。これにより、本学科を卒業した学生は国家試験の受験資格を有することを認められたこととなります。これで、診療放射線技師養成校として必要な認可は全て得ることができましたので、4月1日に予定通り開設いたします。

### 2) 施設および設備

ご存じの通り、キャンパスは福島駅前です。福島県立医科大学は今までは一つのキャンパスでしたが、今後は2つのキャンパスとなりますので保健科学部を福島駅前キャンパス、今のところを光が丘キャンパスと呼ぶこととなります。なお、福島駅前キャンパスの住所は「〒960-8031 福島市栄町10-6」となります。

建物は以前にお伝えしたとおり地下1階、地上8階建てです。2021年1月2日に撮影した写真がFig.1と2です。内装などはまだですが、外装はかなりできあがってきた印象です。診療放射線科学科に係る実験実習室は地下となります。また、



Fig.1 南側から撮影



Fig.2 北側から撮影

我々の教員室は8階となりました。ちなみに、1階の交流スペースはどなたでも入っていただけますし、2階にある図書室は手続きをしていただければ利用可能となります（県内の医療従事者）。もちろん放射線に関する書籍などもかなり豊富に取りそろえる予定ですので、是非多くの先生方にご利用いただければ幸いです。まだ手続きの詳細などは決まっておきませんので、ご希望の場合は4月以降にご連絡ください。

導入する実験・実習機器は、おおよそ以下の通りです（全てではありません）。まだ契約していないものもありますので、それらについてはメーカー名等は記載していません。

- ・医療情報システム（イメージワン他）
- ・放射線治療計画システム（Varian Medical Systems, Eclipse）
- ・3テスラMR装置（GE Healthcare, SIGNA Premier）
- ・X線CT装置（Siemens Healthcare, SOMATOM go. Top 64DAS）
- ・一般撮影用X線発生装置、フラットパネルディテクタシステム、撮影補助具、グリッド等 2部屋（天井走行3台）
- ・移動型X線装置、携帯型X線装置
- ・骨塩定量装置
- ・乳房撮影装置
- ・多目的X線透視撮影装置
- ・超音波診断装置（Canon Medical Systems Aplio i900）
- ・眼底カメラ装置
- ・ガンマカメラシステム（光が丘キャンパスへの導入を予定しています）
- ・患者移送用具（車椅子、ストレッチャー）
- ・サーベイメーターシステム（ $\alpha$ 用シンチレーション10台、 $\alpha/\beta$ 用シンチレーション2台、GM5台、 $\beta$ 用シンチレーション5台、 $\gamma$ 用シンチレーション（スペクトル表示機能付）10台、電離箱10台、中性子用3台、ポケット型3本）
- ・ポケット線量計システム（マイドーズミニ計60本、中性子用10本）
- ・X線アナライザー（ACCU-GOLD+種々のチェンバのセット2式）
- ・面積線量計システム
- ・オートラジオグラフィ解析システム
- ・フィルム解析システム
- ・放射線診断・治療用電位計および電離箱
- ・後方散乱・スペクトル調整用・遮蔽用金属板各種
- ・半価層測定用アルミニウムキット
- ・線量測定用人体ファントム（アクロバイオ他）
- ・蘇生法教育キット（レサシアン他）
- ・性能評価用ファントム（X線、マンモ、CT、MRI、超音波等）
- ・X線撮影ポジショニング用ファントム（各種）
- ・シミュレーター（静脈注射、直腸診等）
- ・人体模型一式
- ・X線高電圧変圧器回路模型
- ・医用工学実験用キット（各種）

ざっと挙げただけでも上記の通りであり、相当に充実した設備となる予定です。これらをしっかりと活用し、先生方のご施設に自信を持って送り出せる人材を養成したいと思っております。もちろん、これらの装

置等を用いた臨床現場等の先生方を対象とするいわゆる卒業教育も力を入れたいと思っておりますので、ご希望がありましたら遠慮なくご連絡下さい。

### 3) カリキュラム

福島医大では、全ての学部で1コマ60分授業となります。保健科学部は Semester 制であり、1年を前期（4月～）と後期（10月～）に分けて半年ごとに科目を完結させます。講義や演習は15コマで1単位、実験や実習は30コマで1単位となります。診療放射線科学科の場合4年間で114科目を開講し、教養教育科目で必修21単位、専門基礎科目で必修31単位、専門科目で必修63単位、加えて選択科目で9単位以上を取得し、全部で124単位以上で卒業が認められます。卒業が認められれば、学士（診療放射線科学）が授与されます。

教養教育科目を含めてほとんどの科目を福島駅前キャンパスで開講しますが、解剖学実習、チーム医療、放射線計測学実験、核医学検査技術学実験、放射線治療機器工学実験等の一部の科目は、光が丘キャンパスでも開講します。何れも、光が丘キャンパスでしか使用できないLINAC、非密封RIを用いた実験を行うためです。なお、解剖学実習では医学部学生と同様に解剖学教室にてご遺体の正常解剖（肉眼解剖）を実施します。診療放射線技師養成校で実際のご遺体の解剖を行っているところはそれほど多くないと思いますが、やはり生体内を可視化することが仕事ですので解剖の知識は必須であり、かつ人体をシステムとして捉えることも重要でありますので、かなり大変なことではありますが解剖学実習を必修科目として組み込みました。

科目に関しては、診療放射線技師養成に必要な科目が中心なのは当然ですが、それに加えて福島ならではの科目として、放射線災害への対応を学ぶ科目がいくつか設定されています。我々診療放射線技師は、そもそも病院等の医療機関で業務を行うという大前提があるために、放射線災害などへの対応は知識や技術があったとしても限定的にならざるを得なかったと理解しています。そこで、その経験をしっかりと教育すると共に、放射線災害等に最大限対応できる次世代の診療放射線技師の養成を目指したいと思っております。もちろん明確なモデルがあるわけではありませんので、我々ならではのモデルを組み上げて行くこととなります。これも、大学の非常に重要な役割であると考えています。

### 4) 学生募集

4月1日の開設に向けて、1期生となる学生の募集を行っております。2021年度は今までのセンター試験（大学入学者選抜大学入試センター試験）が共通テスト（大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト）となり、仕組みが大きく変わります。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、今までの入試と比べるとかなり変更があります。保健科学部は、学校推薦型選抜と一般選抜を行います。学校推薦型選抜は募集人員10名程度（定員の4割）で、応募資格は福島県内に所在する高等学校を令和3年3月に卒業見込み、あるいは令和2年3月に卒業した者で高等学校長が推薦できる者です。推薦できる人数は、1高等学校について各学科2名までとなっています。入学者選抜方法は、総合問題、面接および出願書類の審査結果となっており、大学入学共通テストは課しません。ただし、大学入学共通テストで学科が課す教科・科目および数学Ⅲを履修していることが出願要件となります。

一般選抜は、前期日程でのみ実施されます。定員は15名程度で、入学者選抜は第1段階選抜とその合格者に対して行う第2段階選抜の2段階選抜により行います。第1段階選抜は、定員の4倍を超えた場合に大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を実施し、募集人員の約4倍までを合格者とします。大学入試共通テストに課す教科と科目は、以下の通りです。国語（必須）、地理歴史公民（1科目選択）、数学（数学Ⅰ・A必須、数学Ⅱ・B、簿記会計、情報関係基礎から1科目選択）理科（物理、化学、生物、地学から2科目）、英語（必須）

第2段階選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査、面接の結果、調査書を総合して行います。個別学力検査は、数学（数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B）、理科（物理、化学、生物から1科目）、英語、の3教科です。配点は以下になります。大学入学共通テスト（国語：200点、地理歴史公民：100点、理科：200点、数学：200点、外国語：200点）、個別学力検査（数学：200点、理科：200点、外国語：200点）、面接：100点の合計1,600点です。これらの詳細情報が必要な場合は、福島県立医科大学のホームページから募集要項をダウンロードしてください。

なお、本原稿執筆時点で学校推薦型選抜は終了しました。診療放射線科学科については、志願者数26名で志願倍率2.6倍でした。ちなみに、理学療法学科が1.44倍、作業療法学科が1.81倍、臨床検査学科が2倍という結果でした。合格者も既に発表しており、合格者は10名でした。ですので、最終倍率も2.6倍となりました。ちなみに、女性7名と男性3名という結果でした。一般選抜はまだ実施しておりませんので、結果が出ましたら報告させていただきます。

以上、かなり長くなりましたが現況をお伝えしました。何かご質問などございましたら、遠慮なく久保までご連絡下さい。次回も、引き続き我々の進捗状況をお伝えできればと思っております。

どうぞ、本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。皆様にとって、良い一年となりますように。

## ～会長 「オンレコ」～

### 1 「第4回理事会」

11月10日に今年度の活動及び来年度の予算・体制等について、補助的なWeb会議で話し合いました。今回からWebex法人有料版を使用しましたので、時間制限はありませんでした。電磁的採決で、全ての議事について理事全員一致で承認されました。

### 2 「Webexの法人有料版」

12月10日、コセキにインストールして頂きました。11日の理事会でも使用しました。運用については、各理事にマニュアルを配布したので、各協議会や研究会が使用する際には、各理事に連絡してください。理事会MLで情報共有して、私が県HPカレンダーに記載し重複を防止します。約1000名が参加出来ますので、ぜひ様々な機会にご利用ください。

### 3 「TCRT（東北放射線医療技術学術大会）」

TCRT2020は中止になりましたが、会計監査を

電磁的承認にて行いました。JARTの意向で会計監査が2回になり、関係者にはご迷惑をおかけしました。

来年度に向けて、TCRT2021として動きだそうと思います。開催は、令和3年10月30-31日に、ハイブリッド開催を予定しています。会場は、福島県立医科大学保健科学部です。ご参加お待ちしております。

### 4 「タスク・シフト／シェア」について

11月の東北会長会議で話題になり、インナービジョン12月号にも掲載されました。医師の働き方改革やチーム医療の必要性から打ち出されました。厚労省のHPにも記載があります。2025年4月までに、講習を受けて静脈穿刺や造影剤・RI薬剤の投与等が出来るようになります。講習料は会員10,000円、非会員20,000円の予定です。

来年6月より統一講習受講者が優先して受講出来ます。

1月のJART全国大会（宮城Web開催）でも講

演企画があります。皆さんもこの問題に強い関心を持ってください。1月末のJART全国会長会議でも、この件については質問をしたいと考えています。

## 5 「2021・2022年度のJART代議員選挙の福島県からの立候補受付」について

JART雑誌12月に掲載され、県HPでもお知らせしました。福島県の割り当ては、JART代議員3名と補欠代議員1名ですので公募いたします。第4回理事会では、代議員3名(新里会長・阿部副会長・

鈴木副会長)、補欠代議員(笹川事務員)が選出されました。

## 6 「県学術大会」について

令和3年2月に動画配信を予定しています。現在、特別講演・一般公開講演に向けて優秀な方々に依頼・交渉中です。なお、来年度も一般演題の募集はありませんが、ぜひTCRT2021への演題発表をお願いいたします。

# 会員の皆さんの施設等の移動について

会長 新里 昌一

毎年、年度末になると県内外での移動等が増える時期となります。来年度の会報・総会議案書の配送について、会員の皆さんの所属施設に必ず届くようにしたいと思います。

日放技と県技師会の両方に入会している方は、その両方へ移動の手続きをお願いいたします。同じ技師会ですが、個々に独立した組織です。会員

の皆さんには、大変お手数をおかけしますが、両方の技師会ともホームページから移動の変更手続きをしてください。

県ホームページでも分かりやすいシステム作成を模索中です。会員の皆さんのご理解とご協力を、宜しくをお願いいたします。

## 第11回 東北放射線医療技術学術大会 (TCRT2021)

日 時：令和3年10月30日(土)～31日(日)

会 場：福島県立医科大学保健科学部

開催方法：ハイブリッド開催

大会テーマ：

「雲外蒼天 ～協調、そして融合へ～」

大会長：新里 昌一 (太田西ノ内病院)

大会実行委員長：村上 克彦

(福島県立医科大学附属病院)

## 編 集 後 記

明けましておめでとうございます。去年は新型コロナウイルスによって、辛抱の一年でした。

今年になっても感染者は落ち着く様子はなく我々も感染防止対策をしながら日々業務を行っていると思います。まだまだ、油断を許さない日々が続くと思いますが皆さん頑張ってください。今年もよろしくお祈りします。

(菅原)